

作品募集

Samegawa Village PHOTO CONTEST

鮫川村フォトコンテスト

応募
締切

平成21年
11月20日(金)必着
作品受付 11月2日(月)~20日(金)

テーマ

鮫川村の四季
をとらえた風景

表彰

特選(1点) 賞金10万円
準特選(2点) 賞金3万円

特選(1点)	賞状・賞金10万円・副賞
準特選(2点)	賞状・賞金3万円・副賞
入選(9点)	賞状・賞金5千円・副賞
福島民報社賞(3点)	賞状・副賞
福島民友新聞社賞(3点)	賞状・副賞

※入賞作品につきましては、後日原版(銀塩写真の場合はネガ・ポジ・スライドを、デジタルカメラの場合はJ P E G形式で保存したC D)を提出していただきます。

主催 鮫川村
後援 福島民報社、福島民友新聞社

撮影地域 鮫川村内に限ります。
応募規格 カラー四つ切またはワイド四つ切(デジタルカメラ可)で、平成20年1月1日から平成21年11月20日までの間に撮影し、鮫川村の四季(春夏秋冬)を表現したもの
応募資格および条件
・居住地(村内・村外)、プロ・アマは問いません。
・応募いただいた作品の著作権は鮫川村に帰属します。
・応募作品は原則として返却しませんが、返却を希望される場合は、応募用紙に返却方法を記入の上、返信用封筒に切手を貼ってコンテスト係まで送付してください。
・入賞作品は、カレンダー(カレンダーに使用する写真サイズはB4を予定)や村ホームページ、各種パンフレットに使用します。
・作品は、他のコンテストなどに入賞(入選)または応募したものは除きます。
・応募点数は制限しませんが、入賞(入選)は1人1点とさせていただきます。

審査発表 11月下旬に審査し、入賞者に通知するとともに、12月上旬に行われる郷土料理を楽しむ会および村ホームページ上で発表します。

応募先・問い合わせ
〒963-8401
福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5
鮫川村役場企画調整課「鮫川村フォトコンテスト」係
電話 0247-49-3115 FAX 0247-49-3363
Eメール kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp
ホームページ http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/



何もないところがいいと思います。

■仕事はどんなことをしていますか?
白河市表郷の日本電産ネミコンで品質管理の仕事をしています。
■仕事で心がけていることはありますか?
品質の向上や上司などの話をしっかり聞くことを心がけています。
■休日はどんな風に過ごしていますか?
友だちと遊びやお酒を飲みに出かけたりしています。
■これからチャレンジしてみたいことはありますか?
これからチャレンジしたいこ

とは思いつきませんが、ひさしぶりに野球をしたら面白かったので、これからもっと野球をやりたいですね。
■村に住んでいて感じることや現在の村についてどう思いますか?
何もないところがいいと思います。落ち着きますね。
■村に必要なもの、要望などはありますか?
特に必要なものは思いつきませんね。村がそのまま変わらずにあればいいと思います。
■
次は、水野貴広さん(赤坂中野字伏木田在住)の予定です。



やぶき しょう
矢吹 翔さん(22歳)
[赤坂西野字石ノ花在住]
誕生日 昭和61年4月
血液型 B型
星座 おひつじ座
趣味 体を動かすこと

卒業生を代表して、生方一真さんが三年間を振り返り、「私たちの学校は小規模校であることから、先輩と後輩の分け隔てが無く、どんなことにも全校生で取り組み、成功の喜びや感動を分かち合ってきました。これこそ鮫川中学校の良さであり、誇りです。」と答辞を述べました。
全校生徒で合唱した「旅立ちの日」では、卒業生はこれからの新たな生活



三月十三日、第六十二回卒業証書授与式が厳粛な中で行われ、五十名の卒業生が学舎を巣立ちました。

感動の卒業式
54名の卒業生が学舎を巣立ちました!

学校だより

(第54回)

鮫川中学校 編
浅賀 秀寿 校長
生徒155人

への決意を込めて、また在校生は卒業生の前途を祝福してと、それぞれの思いを込めて見事に歌い上げました。
「こころの教室」を
実施しました

スクールカウンセラーの加藤江里子先生による道徳の授業「心の教室」が行われました。これは、臨床心理士としての専門的な立場から、子どもたちの発達段階や実態に応じてさまざまな指導をしていただき、心の成長を図ることを目的としたものです。三年生は「緊張した心を解きほぐすために」というテーマでリラックスするためのさまざまな手法について体験的に学びました。二年生は「思春期の心の動き、悩み」について、自分自身の心の変化や、思春期特有の悩みについて考えました。一年生は「好ましい人間関係作り」と題して、自己理解と他者を受容する態度について学びました。生徒たちからは「今まで考えなかったことを考えられるようになった」「自分自身のことを改めて考える事ができた」との声が寄せられました。
(文・写真 鮫川中学校)